

13. (Gno.41) 法オントロジーの研究 (法オントロジー研究会)

代表：森 光

2000 年度 (開始)

【研究の目的】

法文化をその時空的個性に視点を据えて、歴史・比較・情報の観点から学際的、総合的に研究する。まず、翻訳の問題をユスティニアヌス帝法学提要を素材にしてとりあげる。矢田一男訳の改訂を副産物として考える。

【研究活動及び成果】

総括

2024 年 9 月に、ドイツ・テュービンゲン大学より T. Finkenauer 教授を招聘した。また 9 月から 10 月にかけて廈門大学より徐国棟教授を招聘した。

学術雑誌

徐教授の招聘中の研究交流の成果を比較法雑誌に発表した。